



Lend a Hand

## 手を貸そう

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

### 第 2560 地区ガバナー

原 信一  
会 長 …… 佐野 勝 栄  
会長エレクト …… 渡 辺 喜 彦(クラブ奉仕 A)  
副 会 長 …… 小 越 憲 泰(クラブ奉仕 B)  
幹 事 …… 荻 根 沢 隆 雄  
S A A …… 杉 山 幸 英  
会 計 …… 渋 谷 正 一

例 会 日 …… 毎週水曜日 12:30 ~  
例会場及び …… 三条市旭町 2 - 5 - 10  
事 務 局 …… 三条信用金庫本店内  
例 会 場 …… TEL 35 - 3311  
事 務 局 …… TEL 35 - 3477  
FAX 32 - 7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

web: <http://www.soho-net.ne.jp/rotary/>

( は shift を押しながら“へ” のキーを押してください )

本日の出席会員数	65名中42名
先々週出席率	87.50%

### 会 長 換 拶

#### 佐野 勝 栄 会長



皆様こんにちは、いよいよ来週の15, 16, 17日友好の掛け橋を築くべく、台湾の新竹市にある新竹城中ロータリークラブへ訪問して、友好クラブ締結の話し合いに行ってまいります。幸いにして毎週火曜日の夜が例会日なので16日メーキャップをしてまいります。その際、挨拶がてら、友好を結ぶにあたってわが三条クラブの紹介と主旨を述べて来たいと思います。先月にも皆様へご案内した様に、このクラブは台湾の第3490地区パストガバナー 洪 学梁氏の仲介でご紹介いただきました。先月で設立11年、会員数は40名弱、会員の平均年齢48才の若々しいクラブです。現在フィリピンクラブと姉妹クラブ、韓国のクラブと友好クラブを結んでいます。

クラブがある新竹市は台北市から南へ70キ

### ゲ ス ト

三条市立第三中学校

校長 星野健蔵 様

### ヴィジター

三条北より 山上茂夫さん

フィリピンNGOフォーラム実行委員会

会長 坂田光子さん

### 先週のメイクアップ

3 / 8 三条南へ 斎藤弘文さん

口に位置し、台北中正国際空港（桜園県）から南へ車で30分の距離です。人口は30万人程で海に近く季節風の影響を受ける為、「風城」とも呼ばれ、その風を利用して乾燥させるピーフン（米紛）が名物です。新竹の科学工業園区（新竹サイエンスパーク）は、台湾初のハイテク団地で、世界有数のIT産業が進出しています。

私共三条クラブが友好クラブを結ぶにあたって、こちらから事前に友好を結ぶ目的や条件を提示して先方と合意を計ってまいりたいと思います。昨年7月、友好クラブを創るにあたり、理事・役員会そして総会にて会員全員の皆様へ主旨を述べさせていただき、是非を問うアンケート調査を実施し、ほぼ9割の方に賛同を得ました。だからといって、勢い友好クラブ締結まで行かず、まずは相方がこの友好にあたってどの様な考えを抱いているのかを話し合う為に、まずは下見に、とっては相手に失礼ですが、私共6名程で訪問し、聞いてまいります。

帰りましたら、皆様へ報告して、石橋を叩くのごとく再度、友好を築くべきかを臨時総会を招集して、賛否を問いたいと思います。再び皆様から友好を結ぶべきだとの賛同を得た場合であっても私共の友好を結ぶ目的や条件を提示し、先方と合意を得た上で結ぼうと思います。それでは行ってまいります。

## 幹事報告

### 荻根沢 隆雄 幹事

横山ガバナーエレクト事務所より  
2004～05年度地区協議会開催のご案内が届いております。

とき 4月11日（日） AM9：30～  
ところ ホテルイタリア軒

義務出席者

次年度 会長 幹事 クラブ奉仕 職業奉仕  
社会奉仕 国際奉仕 新世代奉仕 ロータリー財団 米山奨学 各委員長

分水ロータリークラブ創立30周年記念式典のご案内が届いております。

とき 5月 9日（日） PM1：00～  
ところ 分水町文化センター

## ニコニコBOX

### 佐野勝栄さん

星野先生ようこそおいでいただきました。  
本日の卓話よろしくお願ひ致します。

### 荻根沢隆雄さん

先週、久方ぶりに会津へ行って来ました。味噌田楽にお蕎麦を食べ、窯元訪問と楽しかったです。第三中学校 星野校長先生よろしくお願ひ致します。

### 広岡豊作さん

孫がお世話になっている星野校長先生をお迎えして。

### 松谷眞吉さん

星野校長先生ようこそ来会いただきました。  
お話し楽しみにしております。  
実質第一回卒業生 松谷。

### 丸山行彦さん

弟、妹そして子供3人の母校 第三中学校 星野校長先生、卓話有難うございます。

### 会田二郎さん、石塚欣司さん、杉山幸英さん、船越正夫さん、山田富義さん

三条市立第三中学校校長 星野健蔵様、卓話有難うございます。楽しみにしています。

### 金子俊郎さん、高森章仁さん、日戸平太さん

誕生祝の記念写真とても男前に写っていました。有難うございました。

### 西山徳厚さん

春の風邪に引かれて 早退。

3月10日分 ￥16,000  
今年度累計 ￥802,000



Lend a Hand

## 卓 話



### 三条市立第三中学校 校長 星野健蔵 様

ご紹介を頂きました、三条第三中学校の校長をしております星野でございます。三年前現在の中学校に赴任をし、入学式で「八ノハノハの歌」を歌いました。元気で楽しい学校を造りたいという願いからでありました。それ以来、第三中学校の生徒と保護者に寄生？まして生業を続けております。

今日はこの会にお邪魔することになった訳ですが、実は早い頃、高橋司様より卓話のご依頼があり、人生の多荒波を乗り越えられた大先輩の前で話すなんて恥ずかしくて出来ない、と断り続けてきましたが、最後は熱意に押され、この場に立つことになりました。

これから私が申し上げるのは、ふと考えて思いついた事であり、時間が経てば逆の事を考えるかも知れません。かつて、小栗上野介今坂も同様なことを言ったと聞いていますが、「今日の間違ひは明日への成長」と言う事でお許し願えればと思います。教育現場からの叫び、または教育現場のくどきになるかも知れませんがお聞き願えれば有り難いと思います。

さて、日本の教育は、世界に誇る教育と言われております。そして文字の読めない人は殆どいなくなり、そう言う意味では素晴らしい国家と言えます。現在義務教育が行われていますが、日本の教育は130年経っています。二年ほど前から週五日制が実施されるようになり、教育界ではこの五日制を第三の改革として国民に知らせています。第一の改革は、明治五年の学生発布と言う日本における最初の学校制度であります。当時は税金を納めた人とか、いろいろ条件がついて全員が学校にいけなかったと聞いています。第二の改革が昭和二十二年、第二次世界大戦が終わり、米国や欧州など、列国の指導のもとに6・3制が始まりました。一般に民衆教育と言われ、平和が掲げられるようになりました。そして現在を迎え、この度五日制となり、土日を休む時代になりました。そのため、学校も教育の基本法である学習指導要領も変わりました。

中学校では、年間1050時間の授業を80時間カットして970時間と言う授業制になりました。当然働く時間が少なくなれば生産も少なくなると同じように、学ぶ時間が少なくなれば知的理解の量も少なくなる訳ですが、少なくなっても成

果を上げるよう学校に求められています。常識として学ぶ時間が減れば憶える内容も少なくなりますが、私はそれで良いと思っています。でも二日間休んだ方が、日本の将来のため、人間のために必要なんだと言う基本的なものがあつたはずですが、その基本的なものが残念ながら日本国民の殆どの方が理解していないと思います。

ある人は、初めに大企業が週休二日となり、次に中小企業、そして銀行が追いかけるようになってきた。学校が一番早くなるかと思いましたが、一番遅くなって月一回から二回となり毎週へとなってきました。そして、もっと悪い言葉で言うと、学校の先生が楽をしたいから土曜も休みになったと言う考えの人もいます。しかし、私は日本の国がこれから100年、200年と生きて行くためには、どうしても週休二日制を、学校五日制を維持して行く事が大事であると思います。この五日制に対する学習指導要領には4つの「ねらい」があります。

豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚。

自ら学び自ら考える力の育成。

ゆとりある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着と個性を活かす教育の充実。

各学校が創意工夫を活かし特色ある教育、特色ある学校づくりの推進。

と言うねらいです。それがこれまで出来ていないから、達成して行こうという内容であります。何故そのようになったかと言うと、現実の中学校の様子を見て、このまま行ったら日本の将来が危ない、日本の子供たちが危ない、と言う黄信号が出ていると言う事です。例えば一年間で「いじめ」は約3万件、不登校は13万人(中学では平均すると38人から40人に一人の割合、第三中学は13学級あるから13人の不登校がいてもおかしくない事になります)また暴力行為は4万件。高校中退は10~11万人になり、例えば三条高校規模が一年間に90校つぶれると同じであります。また、全国全ての自殺者は3万人を超えています。

この他に、青少年の非行や性の逸脱行為、援助交際(中学生が叔父さん遊ばない?と言う事で3万、5万円と言うような話も現実にある)これらは、なかなか人権問題があつて報道されませんが、深刻化されているのが現実であり、場合によっては、高校生が電話を聞いて順番待ちでいると言うような現状もあるようです。あるいは幼児虐待(これは大人の問題である)家庭内暴力で子が親を殴り殺す、そんなものがあります。また、学校では学級崩壊、あるいは極端には学校崩壊と言う問題

もあります。これらについては、社会も大変心配はしていますが、私に言わせると「本当に学級崩壊・学校崩壊なのでしょうか？貴方の家庭、は貴方の村は、貴方の町はどうなっていますか？実は家庭崩壊や町内崩壊ではないのですか？夫婦崩壊ではないのですか？日本国家の崩壊ではないのですか？」新聞では学級崩壊などと言いますが、家庭崩壊や夫婦崩壊は余り聞かず当たり前になったのでしょうか。総理大臣は日本の国家崩壊が近づいていると一言も言っていません。でも近づいていると感じてなりません。

そんな状況の中で、何故そんな方向に行ったかと言うと、皆さんに対して失礼かも知れませんが、皆さんは日本の国家の反映、あるいは地域・家族の幸せのために一所懸命働いたと思います。あの焼け野原から今があるわけです。生産活動を繰り返す中で日本の現在があるわけです。それを経済とすれば、昔、人間は殴り合いで喧嘩をしました。棒を持つようになって喧嘩をしました。槍を持ち、弓を持ち、鉄砲を持つようになり、原子爆弾を持ち、飛行機を持って、機関銃を持って、戦車を持って戦争と言う事で生きるために争いました。でもそれは良くないと言う形で話し合いをしたが、何回繰り返しても戦争は続いています。その中でも平和を考えても、血や放射能は出ていないが経済戦争がものすごく地を這っていると思います。どこかの国が豊かになればどこかが貧しくなっていく、これも事実です。でも経済の中での努力で、日本の平和があるという事も事実です。もう一度経済の努力の中で、もう一步足踏みをしながら考えてみる必要があると思います。

これらの経済戦争の中で、日本はどうしてきたかと言うと、働かなければならない、隣がアイロンを買ったから我が家も買わなければいけない。隣が手回しの洗濯機を買ったので我が家は全自動を買う。テレビだ！車だ！クーラーだ！そして子供たちには美味しい物、いい物を着せるため皆が働くようになり、また、皆の努力とともに好景気と言う流れの中で、日本の産業は一段と飛躍したわけです。

経済とともに医学が進歩しました。本来なら未熟児で死んだかも知れませんが、あるいは本来なら心臓で死んだかも知れませんが、医学が発達することでガラスの器の中で生命が生まれ、あるいは手術によって、あるいは人工臓器によって生きることが出来る、大変幸せな世の中になりました。また、お母さんも生産活動にと言う形で保育園、やがてはゼロ才保育園、あるいは夜遅くまで預かる形、そしてついこの間までは、一年間の育児休暇、今度は三年間の育児休暇など、そのような状

況が起きてきており子育てには大変便利になってきました。

おっぱいからミルク、粉ミルク、人工栄養食、そういった物が出来、子育てには便利になったのですが、本当に子育てかどうか、子育てではなく養育代行になっていると思います。また、学校から帰れば児童館が、お母さんが帰って来るまで預かる。学習塾がある。土日は社会体育あるいはなんとか教室など、子育てをみんな他所がやってくれるようになりました。お母さんも安心して働ける世の中になりましたが、そのことは、世の中の経済の努力によってこのような社会が生まれたわけであり、便利な大人の世の中ではありませんが、子供にとってはどうなのでしょう。私は、子供たちが親と一緒にいる時間が少なくなったと感じます。そして粉ミルク子供、鍵っ子、留守番テレビっ子、あるいは100円玉おやつっ子、親の顔を知らない子、等々が増えてきているのかなと思います。そのために子供たちは、母親にダッコされたり父親と悪ふざけしたり遊んだりする、そういった「心のおっぱい」の接触など、思い出の少ない幼児期、あるいは少年期を過ごした子供が多くなり、そういった子供がふとした事で子供をいじめ始める。あるいは友達にナイフで切りかかる、手加減がわからないで母親をバットで殴る。あるいはライターで火を付ける。そういった心のうっ積したものが形に出てくる。それが先ほど申した数にも影響しているのだと感じますが如何でしょうか。

もし経済で皆様方が頑張らないで、東南アジアのように貧しかったら、日本の子供はどうしていたのだろうか。外国人が捨てた物を拾っているかも知れませんが、あるいは畑の大根やキュウリを盗んで食べているかも知れませんが、どっちが良いが分かりませんが、いずれにしてもこの問題の数を我々大人が背負いながら、子供に「心のおっぱい」をもっと接する方法を考えて行く必要があると思いますが、如何でしょうか。

日本の歴史を遡ると縄文時代という時代がありました。その時代は今から7000年ほど前になりますが、それ以前、約一万年くらいでしょうか、六つの時代創世記とか前期・後期などの周期の頃に、火焰土器などが生まれ、信濃川流域に素晴らしい文化を興したという縄文の時代に教育があったら、こんな教育ではなかったかと思えます。

2～3件の家族が助け合いながら生活する、春の雪解け・芽吹き解け・梅雨・夏・秋・冬と助け合いながら生きていった。お母さんの背中、やがてはハイハイしたり、あるいはヨチヨチ歩いたりする。近所の子供と一緒に遊ぶ。そしてお母さん

の背中で、お母さんが魚の針で縫うのを見たり、お父さんが獣の皮を剥いで干している姿を見たり、あるいはおじいちゃん・お婆ちゃんが代わりにしてやったり、隣の子も面倒を見たりするという縄文教育があったのではと思います。そして子供は親の背中を見て、あるいは親の背中で、母親のおっぱいで、近所の年寄りや、兄ちゃん姉ちゃんの中で育てられて、学校ではなく、家庭と言う学校で学んで、当時は30代もすれば年寄りなんです。20~30才の間に死んでいったと思いますが、そういった教育があったのではないかなと考えます。そして新しい土器を造るために、1000年、2000年という長い歴史があったと思います。そんな点では日本もかつて、素晴らしい縄文の教育があったのではと思うと、今の私たちのせめて家庭にでも、せめて我が近所にでも、縄文教育を蘇らせてもいいのではないのでしょうか。

皆さま大勢いらっしゃいますが、貴方のお子さんが何時頃「死」を考えたでしょうか、死について悩んだ事が必ずあったと思います。あるいは貴方の子供さんが、生理が何時始まったのかご存じでしょうか。せがれの生理もご存じでしょうか。そのような事を考えた時に、やはり日本は生きるために精一杯努力し過ぎて、父親が家庭から不在になったと感じます。でもまだ遅くはありません。これから何かの方法で我が家のタクアンをお父さんの味で塩加減（手加減）を入れながら、教育を築いていって頂きたいと思います。

「チューリップの花」の歌を歌った後、かつて金子みすゞと言う詩人が「小鳥と鈴と私」と言う雑

誌の中で、みんな違ってみんな良いという歌を造ったのですが、この歌を二年目の入学式で歌いました。

**赤も白も黄色の花も みんな綺麗に咲いて  
いいな それ皆で仲良く並ぼうや**

私は60歳になって初めてこの歌の意味が分かりました。今、日本の子供たちはいろいろな問題を抱えていますが、やはり素晴らしいと思います。諦めないで子供たちに期待し、子供だけが悪いのではなくて大人が悪いんだ、もっと良くなるう、と子供たちを応援しつづけて行きたいと思っています。

孟子の教えに、「偃びざる心」と言う古事があります。ヨチヨチと歩く子供が井戸の側に近づき落ちそうになった。それを側で見ていた人が「危ない！」と叫び、とっさに駆け寄り抱きすくめた、孟子はこの叫び駆け寄る人間の自然な心を「偃びざる心」と言ったそうです。今、日本の子供たちが井戸に落ちそうなヨチヨチであります。どうか駆け寄って抱きすくめてやりたいと思います。また、宮沢賢治が「世界全体が幸福にならないうちは、個人の幸せは有りえない」と言っていたそうです。これはロータリークラブさんの目指す理念と同じだと思います。これからも学校教育、あるいは日本の子供達の支援者、指導者として一層のご尽力を賜りたいと願っています。

学校教育は大変難しいです。いろいろな要望もあります。私は神様ではありません。日本の教師は神様ではありません。どうか、日本の教師も、日本の学校も助けていただければ有り難いと思います。ありがとうございました。



### 三条RAC 春一番！ 五十嵐川クリーン作戦

と き 4月 3日(土) AM 6:50集合 8:30終了予定

集合場所 一新橋たもと

装 備 軍手 長靴 長ズボン

雨天決行

多数の皆様の参加ご協力よろしくお願い致します。

次週 例会 3月31日(水) 外部卓話

三条工業高校 校長 齋藤 彬 様

次々週例会 4月 7日(水) 卓 話

青木 文雄 会員 藤田 紘一 会員

